

JIS

重ね板ばね－第4部：製品仕様

JIS B 2710-4 : 2021

(JSMA/JSA)

令和3年11月22日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|--------------------------------------|
| (部会長) | 酒 井 信 介 | 横浜国立大学 |
| (委員) | 安 部 泉 | 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会 |
| | 市 川 直 樹 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| | 大 瀧 雅 寛 | お茶の水女子大学 |
| | 奥 野 麻衣子 | 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 |
| | 木 村 一 弘 | 国立研究開発法人物質・材料研究機構 |
| | 木 村 たま代 | 主婦連合会 |
| | 佐 伯 誠 治 | 元一般財団法人日本船舶技術研究協会 |
| | 椎 名 武 夫 | 千葉大学 |
| | 寺 家 克 昌 | 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 |
| | 清 家 剛 | 東京大学 |
| | 千 葉 光 一 | 関西学院大学 |
| | 寺 澤 富 雄 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟 |
| | 中 川 梓 | 一般財団法人日本規格協会 |
| | 奈 良 広 一 | 長野計器株式会社 |
| | 久 田 真 | 東北大学 |
| | 廣 瀬 道 雄 | 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 |
| | 藤 本 浩 志 | 早稲田大学 |
| | 星 川 安 之 | 公益財団法人共用品推進機構 |
| | 松 橋 隆 治 | 東京大学 |
| | 棟 近 雅 彦 | 早稲田大学 |
| | 村 垣 善 浩 | 東京女子医科大学 |
| | 山 内 正 剛 | 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所 |
| | 山 田 陽 滋 | 名古屋大学 |
| | 和 途 健 二 | 一般社団法人日本自動車工業会 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：令和 3.11.22

官 報 掲 載 日：令和 3.11.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ばね工業会

(〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町 12 MH-KIYA ビル TEL 03-3251-5234)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|---|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 記号 | 2 |
| 5 ばねの種類 | 4 |
| 6 材料及び形状 | 6 |
| 6.1 鋼種及び寸法 | 6 |
| 6.2 平鋼の断面形状 | 7 |
| 6.3 硬さ | 7 |
| 7 基本寸法及びその許容差 | 8 |
| 7.1 基本寸法の表し方 | 8 |
| 7.2 許容差のタイプ | 8 |
| 7.3 ストレートスパン及び固定側ストレートスパンの許容差 | 8 |
| 7.4 トレーリングリーフの固定側スパン，空気ばね側長さ，及び反り又は高さの許容差 | 9 |
| 8 性能 | 9 |
| 8.1 一般 | 9 |
| 8.2 ばね特性の許容差 | 10 |
| 9 ばね各部の形状及び寸法 | 10 |
| 9.1 こば曲がり | 10 |
| 9.2 中心穴 | 11 |
| 9.3 開先形状 | 11 |
| 9.4 目玉 | 12 |
| 9.5 二番巻 | 14 |
| 9.6 組立幅 | 16 |
| 9.7 胴締め | 17 |
| 10 部品 | 18 |
| 10.1 金属ブシュ | 18 |
| 10.2 センタボルト | 19 |
| 10.3 クリップ | 20 |
| 10.4 クリップボルト | 21 |
| 10.5 クリップパイプ | 22 |
| 10.6 サイレンサ | 23 |
| 10.7 リベット | 23 |
| 10.8 センタスペーサ | 24 |

| | ページ |
|------------------------------------|-----|
| 11 その他製造に関する留意事項 | 24 |
| 12 検査及び報告 | 25 |
| 附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表 | 26 |
| 解 説 | 28 |

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ばね工業会（JSMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 2710-4:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 2710 規格群（重ね板ばね）は、次に示す部で構成する。

JIS B 2710-1 第 1 部：用語

JIS B 2710-2 第 2 部：設計方法

JIS B 2710-3 第 3 部：測定及び試験方法

JIS B 2710-4 第 4 部：製品仕様

白 紙

重ね板ばね—第4部：製品仕様

Leaf springs—Part 4: Specification of products

序文

この規格は、2015年に第1版として発行されたISO 18137を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、主に自動車、鉄道車両、産業機械に使用する重ね板ばねの製品仕様について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 18137:2015, Leaf springs—Technical specifications (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0103 ばね用語

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 26909, Springs—Vocabulary

JIS B 0156 ばね記号

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 16249, Springs—Symbols

JIS B 0205-2 一般用メートルねじ—第2部：全体系

JIS B 0209-2 一般用メートルねじ—公差—第2部：一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法—中（はめあい区分）

JIS B 0401-2 製品の幾何特性仕様（GPS）—長さに関わるサイズ公差のISOコード方式—第2部：穴及び軸の許容差並びに基本サイズ公差クラスの表

JIS B 1021 締結用部品の公差—第1部：ボルト、ねじ、植込みボルト及びナット—部品等級A、B及びC

JIS B 1051 炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質—強度区分を規定したボルト、小ねじ及び植込みボルト—並目ねじ及び細目ねじ

JIS B 1181 六角ナット